

国民健康保険からのお知らせ

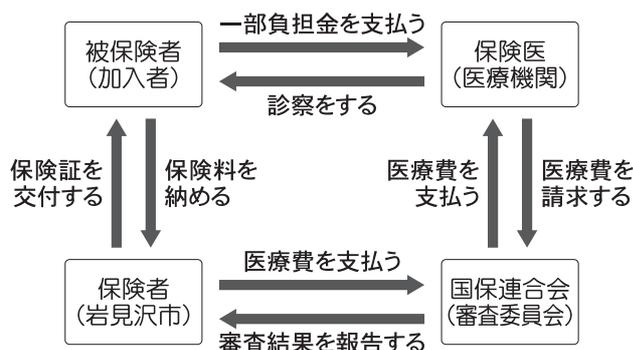
安心して 健康に暮らすために

国民健康保険(国保)は、加入者の皆さんの病気やけが、出産、死亡に必要な給付を行い、健やかで安心できる生活を送るための基盤として重要な役割を果たしています。しかし、国保財政は医療費の増加などにより平成22年度決算で約2億7千万円の赤字となるなど、今後も厳しい状況が予想されます。このような状況をご理解いただくため、現在の国保の状況などについて、加入者だけでなく、市民の皆さんにお知らせします。

国保とは

日本では、すべての人が必ず何らかの医療保険に加入することになっています。これを国民皆保険制度といいます。岩見沢市に住所を有する人で、他の医療保険に加入すべき人以外は、すべて岩見沢市国保の加入者となります。

国保は、万が一の病気やけがの際に安心して医療が受けられるように、加入者が普段から保険料を出し合って、必要な医療費に充てて相互に助け合う医療保険です。



国保の状況

被保険者(加入者)の状況

市内人口のおよそ4分の1、世帯では3分の1の方々が国保に加入しています。また、現在会社の健康保険などに加入している方のうち、多くの方が、退職後は国保に加入しています。

このように国保は多くの方が一生

のうち、どこかで加入する保険制度であると言えます。

国保会計の状況

国保は、加入者皆さんの保険料で事業の運営をしており、市の一般会計とは別に、特別会計として経理をしています。

平成20・21年度は前年度からの繰越金もあったことから、黒字で決算できましたが、平成22年度は約2億

7千万円の赤字決算となりました。保険料収入の状況

保険料は、国保事業を運営する上で根幹をなす財源であり、加入者の皆さんが納めることで、安心して医療を受けられるしくみになっています。

しかし、加入者の減少や景気の低迷などにより、保険料収入が年々減少しています。保険料は平成19年度か

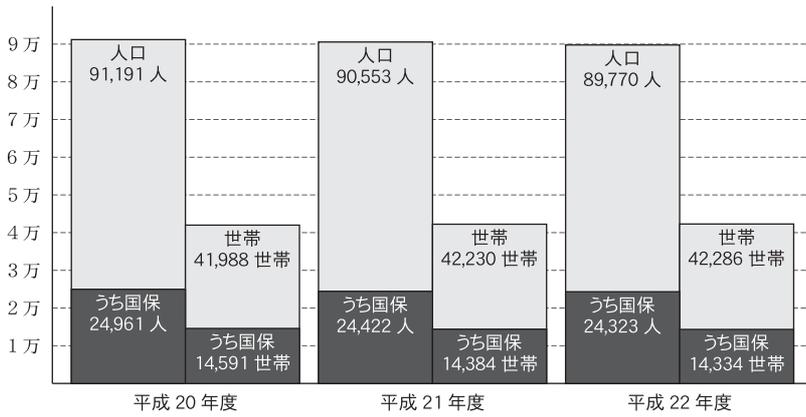
ら据え置いてきましたが、平成23年度は平均5%の引き上げを行いました。医療費の状況

医療費の状況

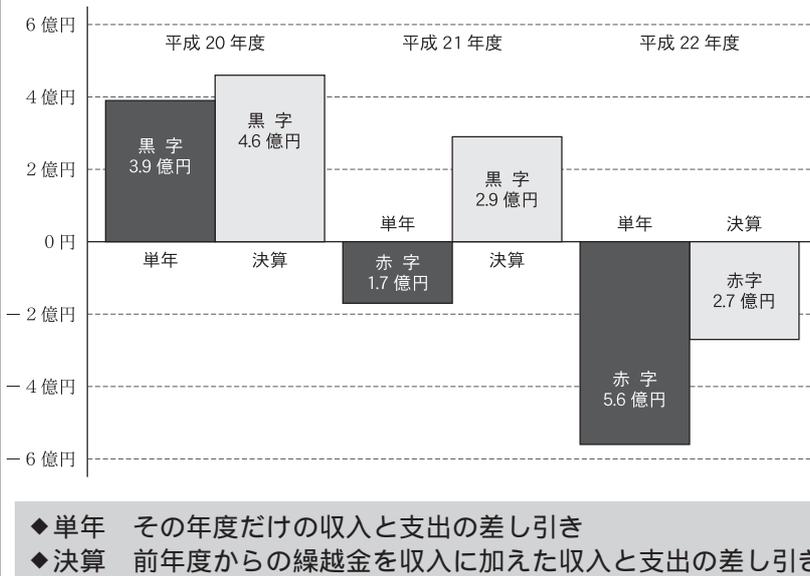
先新医療の発達や高度化、高齢者の増加などにより、全国的に医療費が増加傾向にあり、岩見沢市の国保も同様に、年々医療費が増加傾向にあります。

医療費が増えたと、それに伴い保険料も増加することにつながります。

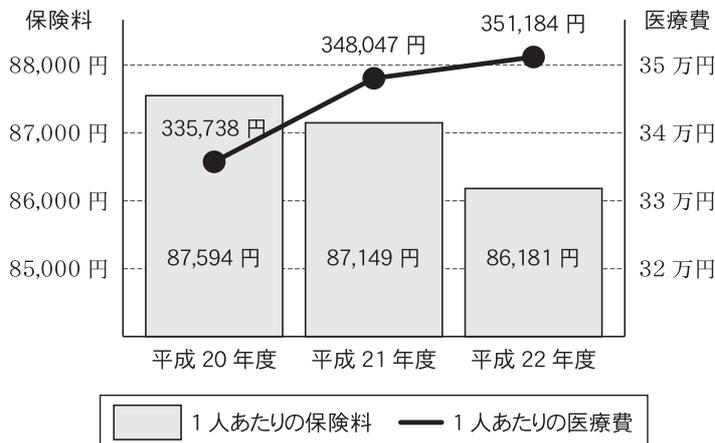
【国保加入者の状況】



【国保会計の状況】



【1人当たりの保険料と医療費の状況】



みんなの国保をみんなで守る

加入者に多い疾病は

高血圧性疾患や、歯肉炎および歯周疾患、糖尿病などの生活習慣に起因すると言われている病気です。

また、これらの病気にかかってしまったら、治療の間も医療費も多くなることもあり、さらに病状が進む、万が一の病気で治療を受ける

加入者に多い疾病の順

疾 病 名	
1	高血圧性疾患
2	歯肉炎および歯周疾患
3	糖尿病
4	その他の歯および歯の支持組織の障害
5	その他の内分泌、栄養および代謝疾患

高血圧性疾患や糖尿病の外来医療費

疾病名	1 か月あたり		1 年間では	
	医療費	自己負担 (3割)	医療費	自己負担 (3割)
高血圧性疾患	12,000円	3,600円	144,000円	43,200円
糖尿病	28,000円	8,400円	336,000円	100,800円

これらは一例であり、症状などにより医療費は変わります。

万が一の病気で入院した場合の医療費

疾病名	入院日数	医療費
急性心筋梗塞	20 日	220 万円
脳出血	43 日	160 万円
狭心症	10 日	120 万円
脳梗塞	39 日	120 万円

これらは一例であり、症状などにより入院日数や医療費は変わります。



と多額の医療費がかかってしまします。

特定健診・保健指導を受けましょう

日頃から健康意識を高め、自覚をもって生活習慣を改善し、病気を予防することが大切です。

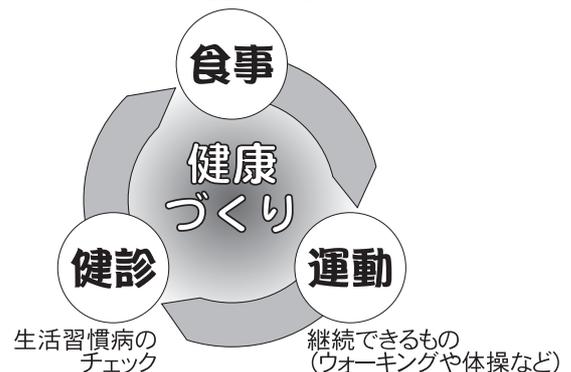
特定健診・特定保健指導は、生活習慣病の発症を未然に防ぐために、メタボリックシンドローム(メタボ)に着目した健診結果を踏まえ、生活

改善に役立つものです。メタボが進行すると、心臓病や脳卒中、動脈硬化などになりやすくなり、様々な合併症も引き起こすと言われてい

ます。この健診や保健指導を受けることで、これらの病気を未然に防ぎ、医療費を抑制できる効果があります。

特定健診は、市民健康センターや市内委託医療機関での受診のほか、保健センターや各コミュニティセン

バランスよく
塩分をとりすぎない
脂肪分をとりすぎない



ターで実施する成人検診で受診することができます。

自分の健康状態を定期的にチェックするためにも、ぜひ健診を受けましょう。

ジェネリック医薬品の利用

ジェネリック医薬品(後発医薬品)は、特許期間の過ぎた新薬(先発医薬品)と同じ効能のある処方薬で、新薬よりも低価格です。

ジェネリック医薬品に切り替えることで、医療費の抑制につながり、医療機関での窓口負担も少なくなる場合がありますので、医師や薬剤師に相談してみましょう。

保険料収納率の向上に向けて

保険料収入の確保は国保事業を運営する上で非常に重要です。滞納が増えることは、加入者が相互に助け合う医療保険制度として公平性を欠くこととなります。

市は収納率を向上させるため、次のことに取り組んでいます。

□座振替の推進

納め忘れを防ぐために、口座振替を勧めています。

納付相談の徹底

窓口相談などで、生活状況にあった納付の方法を話し合います。

滞納者への対応

滞納が続くと、次の措置を行う場合があります。さらに、悪質な滞納者には、給与や預貯金、財産などの差し押さえを実施することもあります。

◆短期保険証の交付

有効期限の短い保険証を交付する。

◆給付の制限

高額医療費など全部または一部を差し止める。

◆資格証明書の交付

納付能力がありながら保険料の納付の誓約にも応じない、または誓約を履行しない滞納者には、資格証明書を交付します。この場

合、医療機関にかかるとき医療費の全額をいったん自己負担することになります。(後日、申請により、保険者負担分の払い戻しがされる場合があります)

保険料の納付が困難になったとき

災害や倒産、失業などで、前年度より著しく収入が減少した場合、保険料の減免や徴収を猶予できる場合があります。保険料の納付が困難になった場合はすぐに国保の窓口でご相談ください。

◆

年々増加する医療費や加入者の減少、景気の低迷などによる保険料収入の減少など、今後国保を取り巻く状況は非常に厳しさを増すもの予想されます。

◆

加入者が安心して医療を受けられる基盤を確保するためには、国保会計の健全化が必要です。

健全化には保険料の改定、医療費の抑制、収納率の向上のほか、市民一人ひとりが健康を保持、増進していくことが欠かせません。

みなで国保を守るために、皆さんのご理解とご協力をお願いします。

問合せ 市健康推進課国保係

ひゃっぴい体操

ひゃっぴい体操で健康づくりしませんか

市は、市民の皆さんが楽しく健康づくりを続けて、「100歳まで元気でハッピーに暮らせるように」と平成21年度からひゃっぴい体操の普及活動を行っています。

この体操の中には各種運動がバランスよく盛り込まれていて、心肺機能や筋力を高め、からだの調子を整える効果があります。体操を続けている方からは「からだが軽くなった」、「持久力がついた」、「ストレス解消になった」などの感想が寄せられています。

ぜひ、ひゃっぴい体操を毎日の健康づくりに取り入れてみませんか。

なお、町会(自治会)、老人クラブ、職場、サークル、各種団体などで希望があれば、保健師や指導員が出向き体操指導を行います。また、CDとDVDの無料配布(数量限定)も行っていますので、配布を希望される方は保健センターまでお越しください。

CDとDVDの無料配布は無くなりしだい終了。

問合せ 岩見沢保健センター(10西3) ☎25局5540



ひゃっぴい体操 教室

参加者募集

日時 9月22日(木)・29日(木)(全2回)午後1時30分～3時

定員 30人(申込順) 持ち物 運動靴、飲み物

動きやすい服装で参加してください。

会場・申込・問合せ 9月20日(火)までに岩見沢保健センターへ